
放課後探偵団

木之下 ヨシノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

放課後探偵団

【Nコード】

N0524L

【作者名】

木之下 ヨシノ

【あらすじ】

鹿児山 莉礼。ごく普通の女の子。

ある日、莉礼の大切なお父さんの形見のリーダーが何者かによって盗まれた！！

落ち込んでいると、校内放送でなぜか莉礼は呼び出されることに。

『おい！ 2年4組鹿児山 莉礼！ 今すぐ屋上に来い！！』

慌てて屋上へ向かうと、そこには超強面の先輩、舛添 蓮人がいた。蓮人は急に「班活を作ろう」と言い出して！？

ノーマル×アブノーマルが作り出す不思議でおかしな放課後ワー

ルド！！

リコーダーの行方はいかに！？

プロローグ

うららかな春の日差しを浴びて、開け放たれた窓から彼女は大きく息を吸い込む。

「………ッ、ッつあ………!!」

背伸びをして、街中から校門へと続く、花が散って葉だけになった桜並木を見つめる。つい2、3日前までは花見にやってくる街の人間が何人かいたのに、葉だけになった桜の木が美しいといって見に来る者は一人もいない。

彼女はそんな並木を見つめ、一人考える。

：桜の木の下には人が埋まってるって言うし、この桜並木にも誰か埋まっていたりするのかな。

こんなことをつぶやいたら周りにまだ残っている、クラスメイトたちに冷ややかな視線で見られることに違いない。実際、2年前に卒業した中学校で一番仲の良かったクラスメイトに真顔で聞いたことがあるが、不謹慎だよ、とドン引きされて以来、心の中でつぶやくと決心した。

春の風が肌を撫でる。お気に入りのニット帽からはみ出した長い黒髪が、風をはらんで揺れた。

「莉礼……!!」

後ろから自分の名前を呼ばれて振り返ると、「不謹慎だよ」とドン引きした張本人、藤咲 旭が入り口にかばんを持って立っていた。何気、未だに親友だったりする。

「旭？ あれ、今日は班活じゃないの？」

旭は班活で吹奏楽班に所属している。中学入学前から市の子ども吹奏楽団にいたため、「当然入るに決まってるじゃない」といって中学から吹奏楽を続けている。担当はトロンボーンだ。

鞆を持って親友に駆け寄ると、旭は薄紫色のフレームの眼鏡をク

イツ、っと上げ困ったように眉をよせた。

「それがねー、今日は音楽室が使えるのだよ」

「え？ 何で？？」

莉礼が尋ねると、旭は言った。

「現場検証」

目の前でビシッと指を指され、寄り目になった莉礼を見て、旭はニツコリと満足そうに笑って廊下を歩き出した。取り残された莉礼も、小走りで旭の隣につく。

「…なんか楽器が盗まれたらしくてさー、班活するにもできないし、だから先生たちで現場検証してるの」

と言っているうちに、現場検証中の音楽室の前に差し掛かった。人だかりが出来ていて、ただでさえ狭い廊下がすし詰め状態だ。音楽室内を覗こうとしている生徒を莉礼のクラスの担任が制している。

「楽器が盗まれたって、旭のは大丈夫なの！？」

「ん？ あ、うん、私ののはちょっとメンテのために楽器屋に出してたから大丈夫だったんだけどねー…」

気まずそうに目を莉礼からそむける。

「…？」

「…なんか、リコーダーも盗まれたっぽい。…あんたのとかね…」
耳打ちで告げられた件について、莉礼は当初、まったく気づいていなかった。

「…？ …あんたの？ あんたのって私の？ …って私のおおおお
おおおおおおおおおおお！？」

騒がしい廊下が一瞬静まり、全員の視線が莉礼に集まる。

「…莉礼…行くよ」

「…」

放心状態の莉礼の腕を引っ張って、旭が廊下の人混みを掻き分けて玄關へ向かう。

ありえない。ありえない。ありえない。ありえない。ありえない。

『おい！2年4組の鹿見山莉礼！！　今すぐ屋上に来い！！！！』
この放送が、後に莉礼の人生を変えることになる時はこの時、誰にも分からないことだった。

プロローグ（後書き）

よろしく願います!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0524/>

放課後探偵団

2010年10月15日20時39分発行